

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス よりそい			
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設に隣接する広場での運動療育	広いスペースを活かして運動療育を実施する事で、児童の体幹を鍛え、基礎体力の維持・向上を目指す取り組みを実施している。 また児童それぞれの体力や運動能力に合わせて、様々な運動内容やプログラムを提供出来る様にしている。	児童の個別差も理解しながら年齢別・特性別の効果的なアプローチを行い、児童の更なる体力の強化を目指す。
2	ご利用者が楽しく施設に通所出来ている。	ご利用者の意欲や興味に向き合いながら、支援内容の提案を柔軟に対応し、楽しく過ごして頂けるように心がけている。 また職員が提供するだけでなく、ご利用者自身にも何を行いたいかを考えて頂く機会を提供し、可能な限りその希望に応えられるように努力している。	様々な支援プログラムが提供出来るように、今後一層の支援内容の充実と、全職員がご利用者のやってみたい気持ちを尊重しながら支援に携われるように努める。
3	保護者からの相談に向き合い、また児童の日頃の状況等について定期的な報告を実施している。	その日の様子だけではなく、学校への送迎時に報告を受けた内容についても漏れなくお伝えするように心掛けている。また速やかに報告すべき内容については適宜電話連絡を行い、会話を通じたコミュニケーションを図る事でご家族様に安心感を感じて頂ける様に努めている。	日常的に児童の状況を把握し、全職員が情報共有を行う事で、すべての児童をすべての職員で安全に見守る体制作りを確立する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が設けられていない。またきょうだい・家族ぐるみで参加出来るイベントの実施が出来ていない。	保護者様同士が交流できる機会を、事業所として設けられていない。	地域でのイベントや、家族ぐるみで参加できるイベントの開催の立案・実施に向けて前向きに取り組む。
2	職員の配置については適切であるものの、支援に携わっている職員についての公表は行っていない。	法令の配置上は適切であるが、職員の体調不良等あり、その都度必要に応じて他部署、もしくは法人内のフォロー体制配置を行い運営している。	児童・保護者様が安心して頂ける様に職員体制の安定化を図るとともに、職員自身の様子についても公表可能なものについては公表を行い、保護者様に安心感を提供できるように心掛ける。
3	事故防止マニュアル等の作成が行われているものの、その事実を保護者様に公表出来ていない。また年に2回の消防訓練等の実施を行っているが、それをInstagram等で公表しておらず、結果として保護者様の不安に繋がっている。	法的に義務付けられた研修や訓練等の実施について、実施はしているものの、その公表・周知を行っていない。	今回のアンケート結果を真摯に受け止め、ご家族様が施設の安全面に不安を感じる事のない様に周知・説明の徹底を図る。訓練等に実施についても適宜公表を行う。